



幼稚園だより

令和4年度
7月号

遊びの中の学び

令和4年6月30日
文京区立湯島幼稚園
園長 前田 宏子

あっという間に梅雨が明け、園庭の日差しも強さが増しているように感じます。

先日、プール開きを行いました。いつもは日差しが強い日は「プールに入ることができる！」と子どもたちと一緒に喜んでいましたが、最近は暑さが厳しいとプールに入ることが難しくなっています。水の中にいるとは言え、熱中症になる危険もあるのでプール遊びを中止することがあります。「なんでこんなに暑いのにプールに入れないの？」と子どもたちに聞かれましたが、熱中症の危険があることを伝えると子どもたちも納得しました。今後も天候を見ながら、プール遊びや水遊びを行っていきたいと思います。

今年度に入り、ゆり組はJFAのサッカー教室を2回行っています。1回目より2回目の方がボールを扱う姿も楽しげになっていました。サッカー教室ではボールを使っていろいろな動きを楽しみました。その後、チームに分かれて試合をします。「ボールを手で持ってきて」「こっちにボールがあるよ」などコーチが言葉を聞いて、子どもたちは試合を楽しんでいました。

サッカー教室の後は好きな遊びの中でも友達を誘って、サッカーを楽しんでいます。しかし、好きな遊びの中ではコーチはいません。全員が選手としてボールを追いかけています。ある日のことです。ボールが遠くまで転がってしまった後を追いかけていく子どもたち。そのボールを蹴りながらAちゃんはゴールのある場所まで戻ろうとしました。「手で持つんだよ」とBちゃんが大きな声で話しかけました。別の場面ではCくんが手でボールを持ってゴールのそばまで戻ってきました。Bちゃんは「ボールは手で持たらないんだよ」と言いました。「さっきBちゃんは手で持ってくるっていったじゃない」とCちゃんが答えました。Bちゃんは「この線から出たら手で持つんだよ」と大きな声で言い返しました。

その様子を見ていた教師がそれぞれ困っていることを聞き出し、どうしたらいいのかを考えさせました。コートの線がはっきりしていないことが原因で困っていたことが分かり、その後は線を引いて試合を続けました。大人がリードして遊んでいれば、このようなことはないと思います。幼稚園で遊ぶサッカーは体を動かすことを楽しむだけではありません。ルールの必要性、自分の思いを伝える大切さなどを感じることが出来る活動です。今回はルールを理解するだけでなく、なぜそのルールが必要なのかを考えていくことができました。幼稚園だからこそできる、“遊びの中の学び”のこのような経験を大切にしていきたいと思います。

4月から始まり、あっという間に一学期が終わろうとしています。保護者や地域の皆様には様々なご協力をいただき、ありがとうございました。